

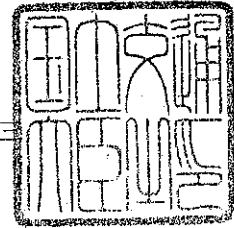


認 定 書

国住指第2006号
平成 19年 2月 23日

寺岡オートドア株式会社
代表取締役 吉田 敬 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第112条第1項(特定防火設備)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
EA-0228
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
耐熱板ガラス入ステンレス製片開き戸
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
上枠、下枠、たて枠 方立、上框、たて框 下框、押縁	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0～2.0mm
くつずり	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.5～2.0mm
補強材 1	材料：溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ：1.6mm以上
補強材 2	材料：溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ：2.3mm以上
補強材 3	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅38mm以上
補強材 4	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅100mm以上
補強材 5	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅125mm以上
ガラス	材料：耐熱板ガラス 厚さ：6.5mm又は8mm（許容差±0.3mm） ガラスの種類：ほうけい酸ガラス 熱膨張係数： $3.3 \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$ （常温～350℃） 密度：2.2g/cm ³

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

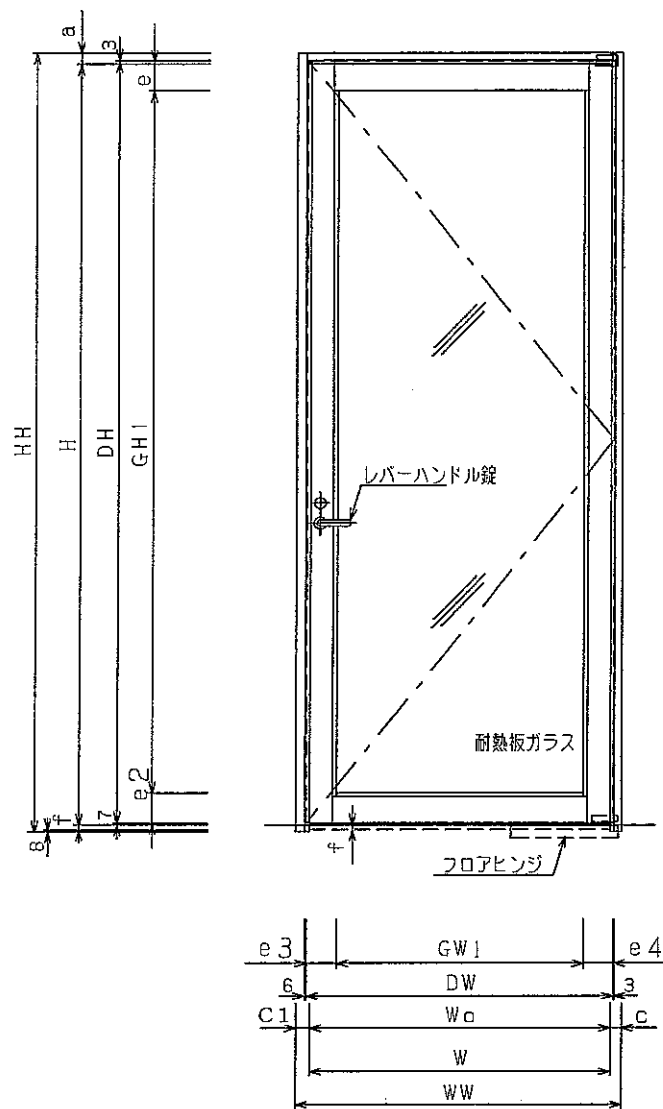
表3 申請仕様の副構成材料

項 目	申 請 仕 様
アンカー	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 大きさ：丸鋼 9φ以上 取付間隔：250mm以下
ガラス押え	材料：シリコン系シーリング材
バックアップ材	材料：セラミックテープ 厚さ：4.25mm以上、幅17mm以上
レバーハンドル錠	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0mm以上
フロアヒンジ	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 油圧式
目板	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 FB 厚さ：5mm以上、幅38mm以上
セッティングブロック	材料：繊維混入けい酸カルシウム板 大きさ：13×6×50mm以上
加熱発泡材	材料：カーボングラファイト系 厚さ：1.5mm以上、幅10mm以上
さび止め塗料	材料：塩酸カルシウムさび止めペイント（JIS K 5629）
押縁留め小ねじ	材料：ステンレス鋼棒（JIS G 4303） 寸法：胴部径M4×長さ30mm以上

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図10に示す。

単位 mm



室内側立面図（片開き戸）

図1 構造説明図

単位 mm

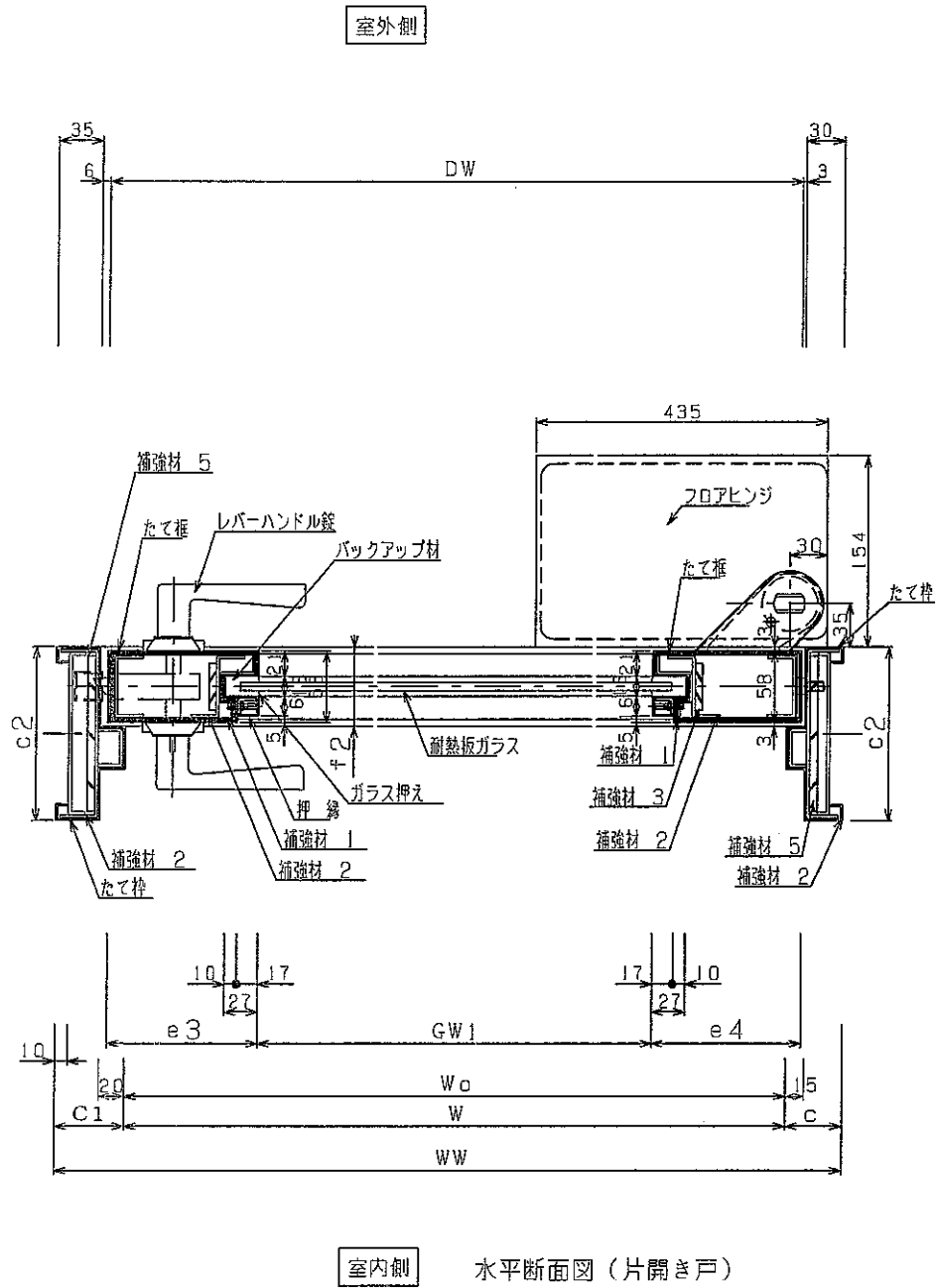
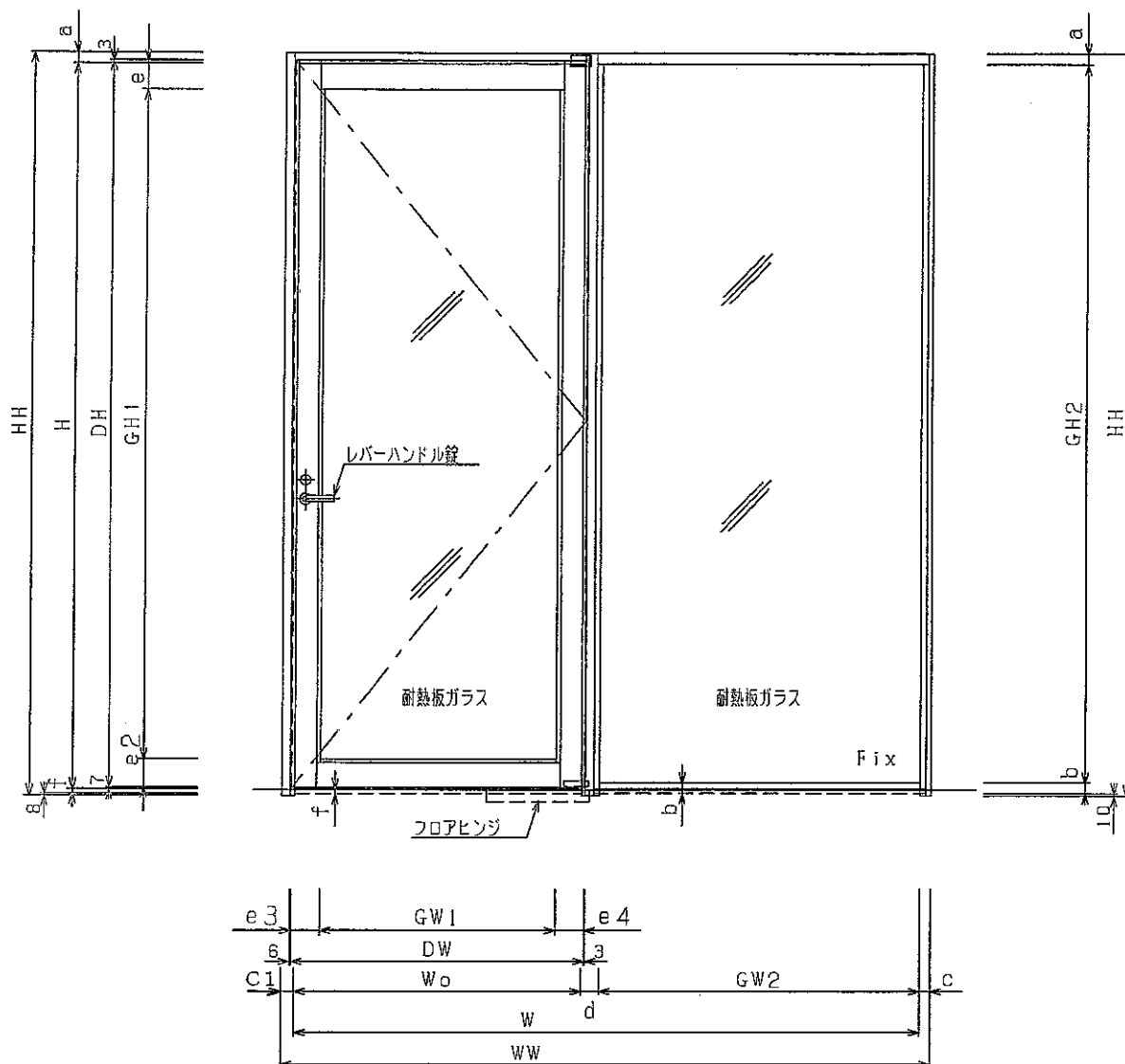


図2 構造説明図

単位 mm



室内側立面図（片開き戸片袖F i x付）

図3 構造説明図

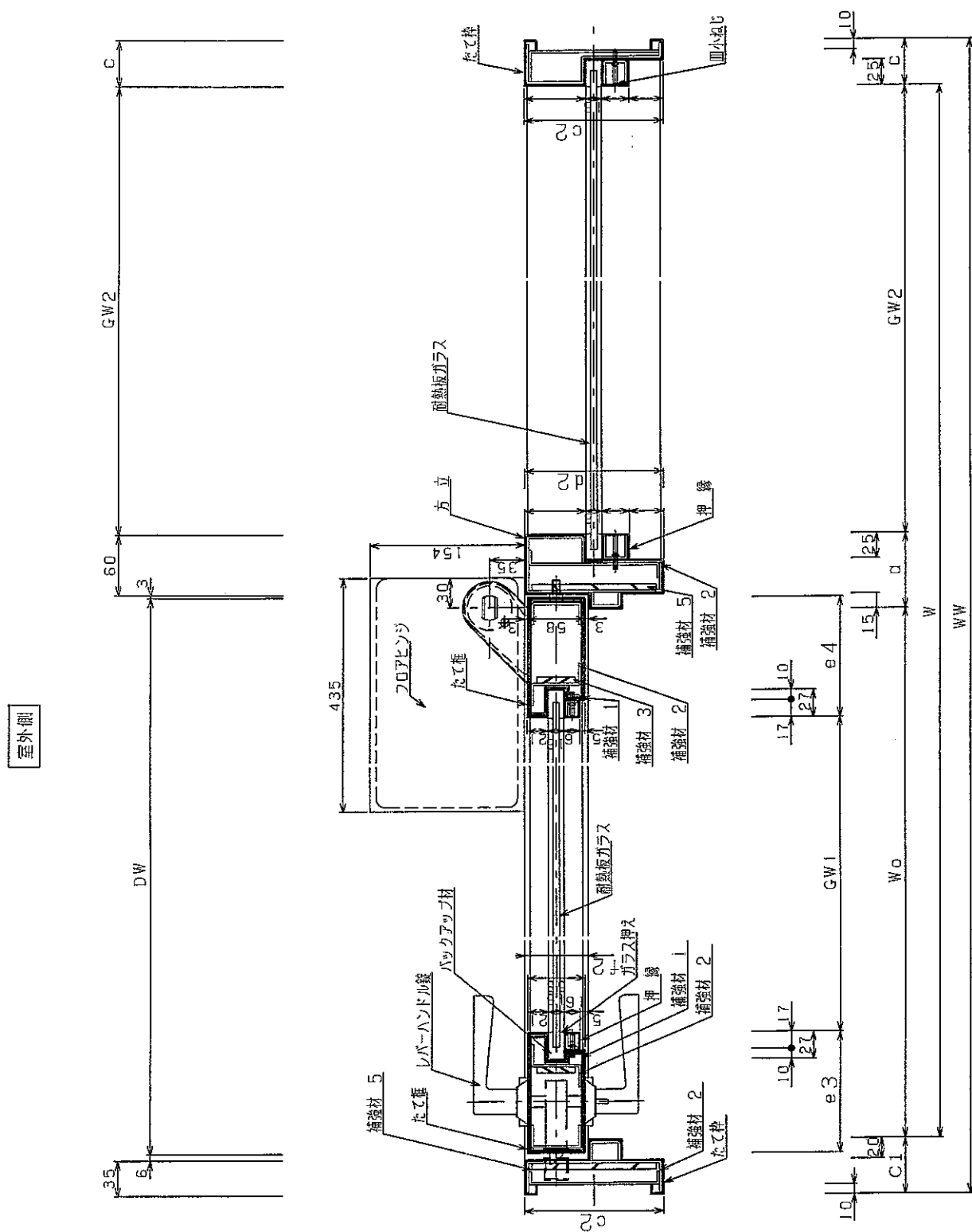
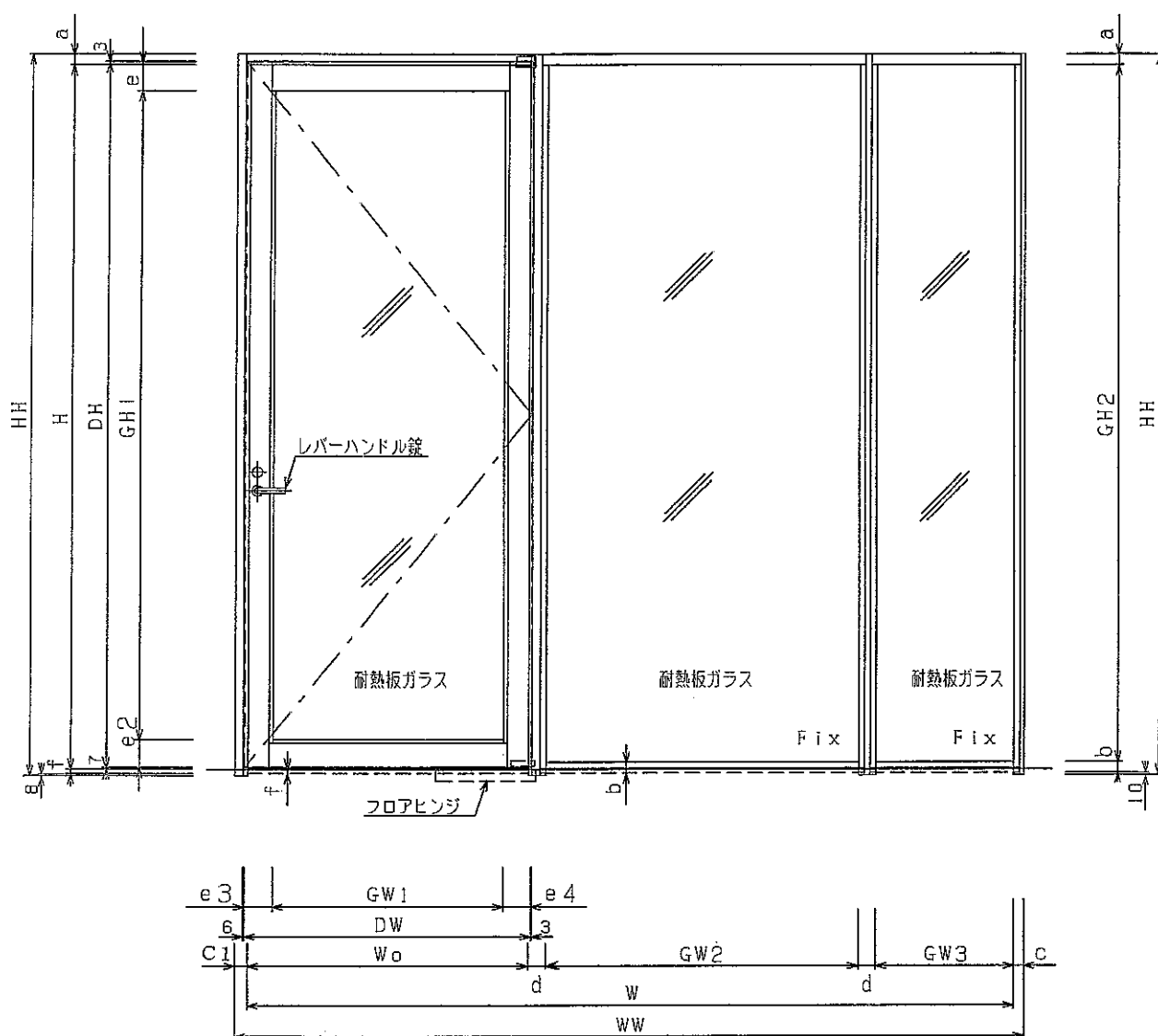


図4 構造説明図

単位 mm



室内側立面図（片開き戸片袖2連F i x付）

図5 構造説明図

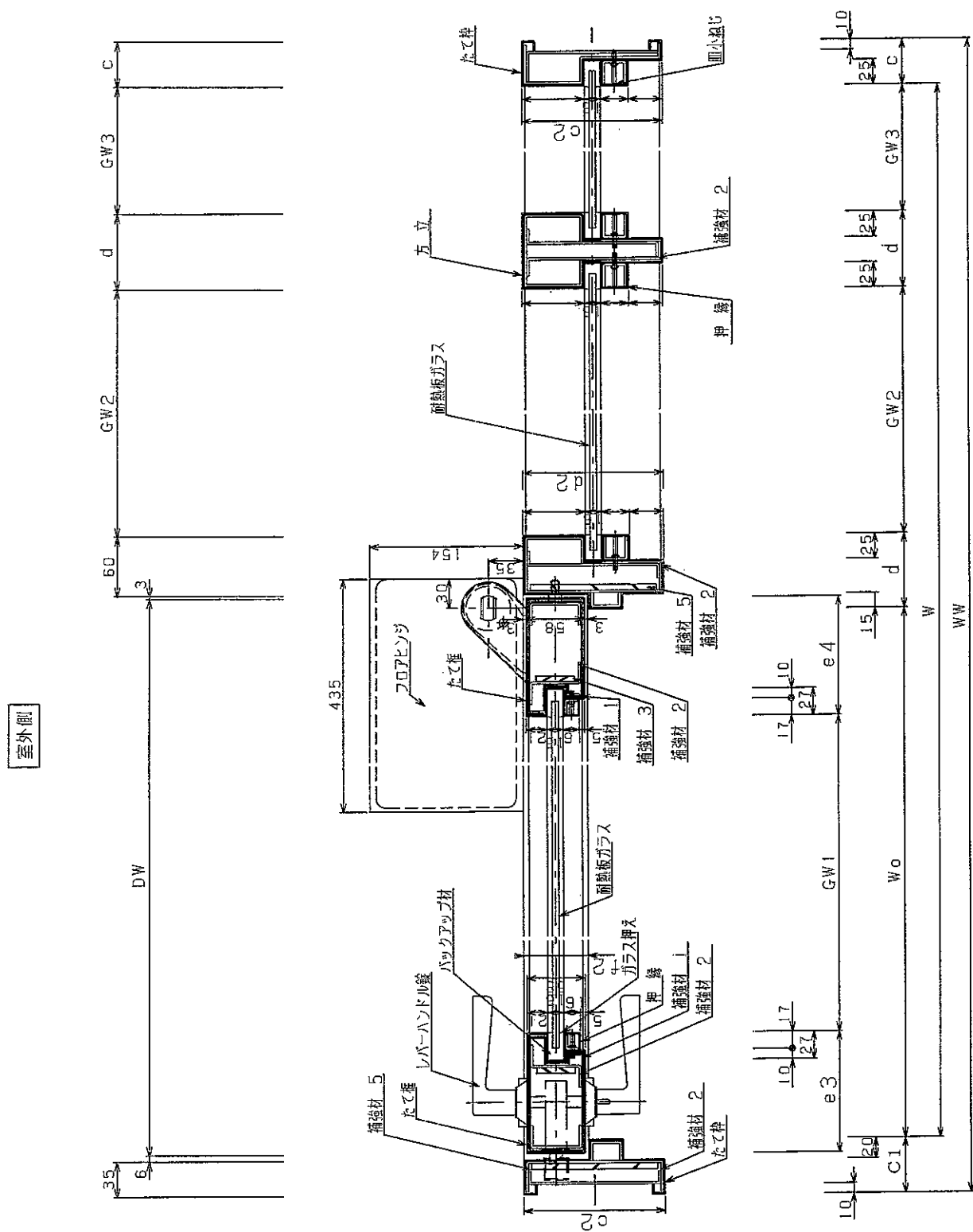
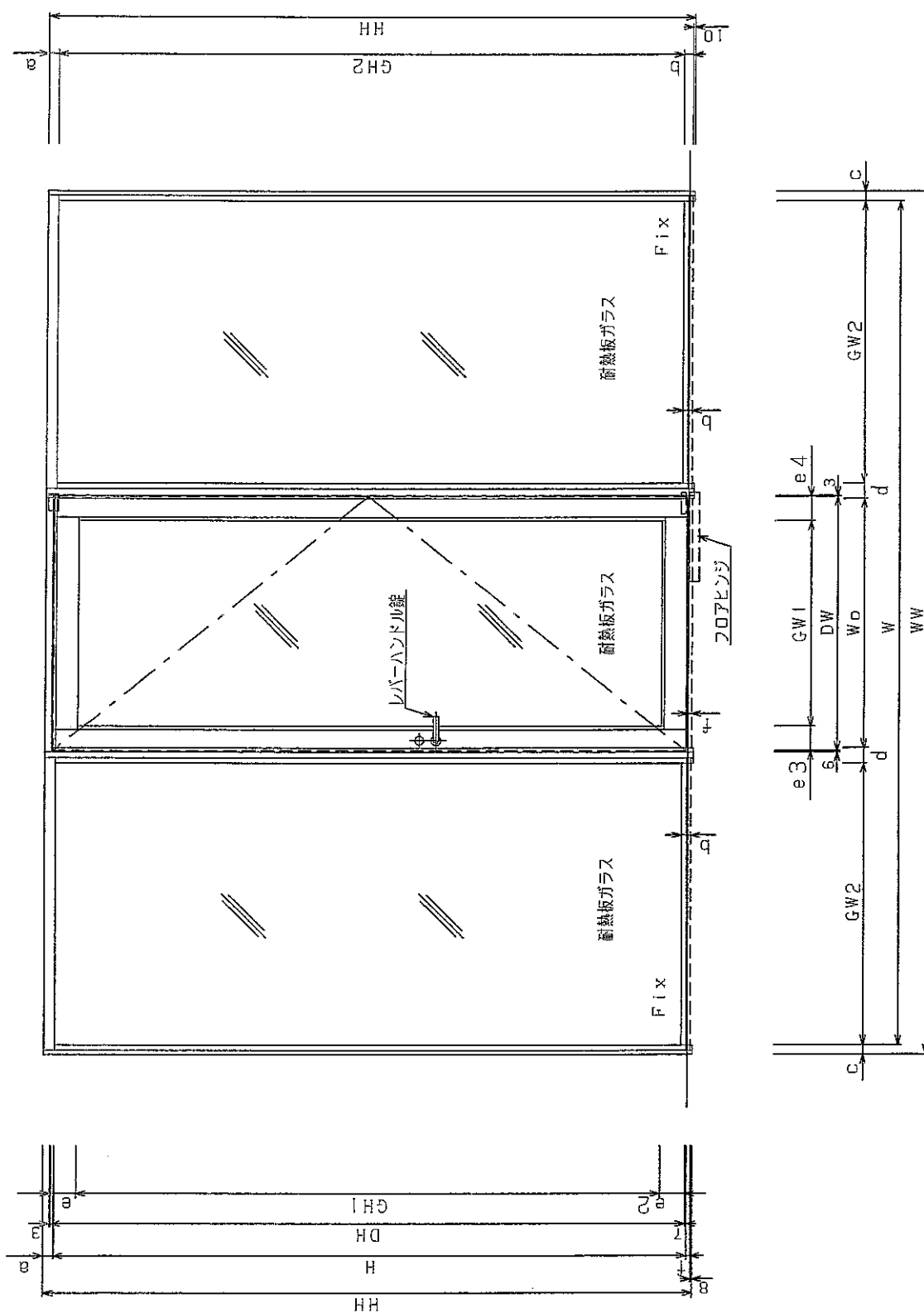


図6 構造説明図

単位 mm



室内側立面図（片開き戸面袖Fix付）

図7 構造説明図

単位 mm

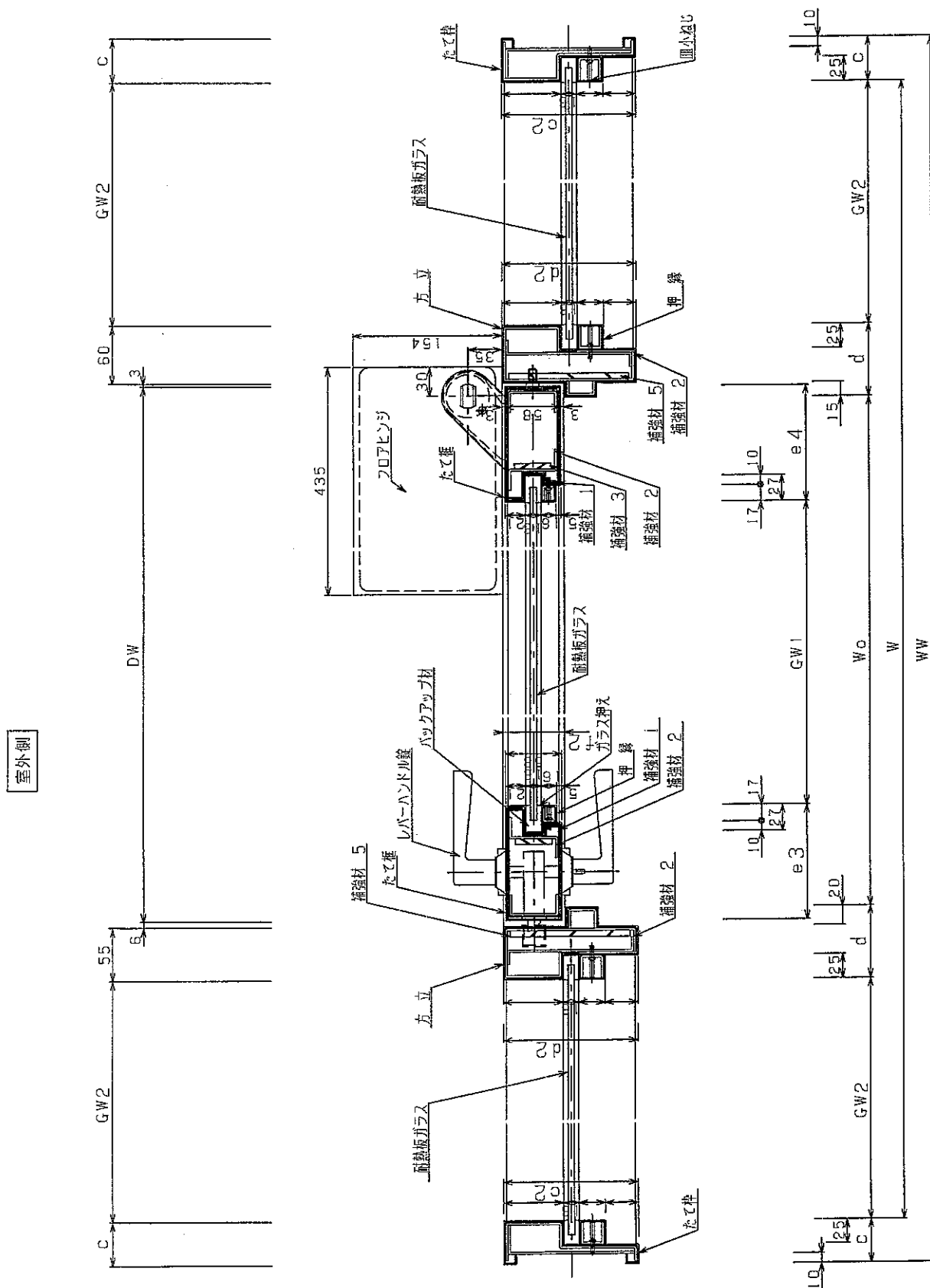
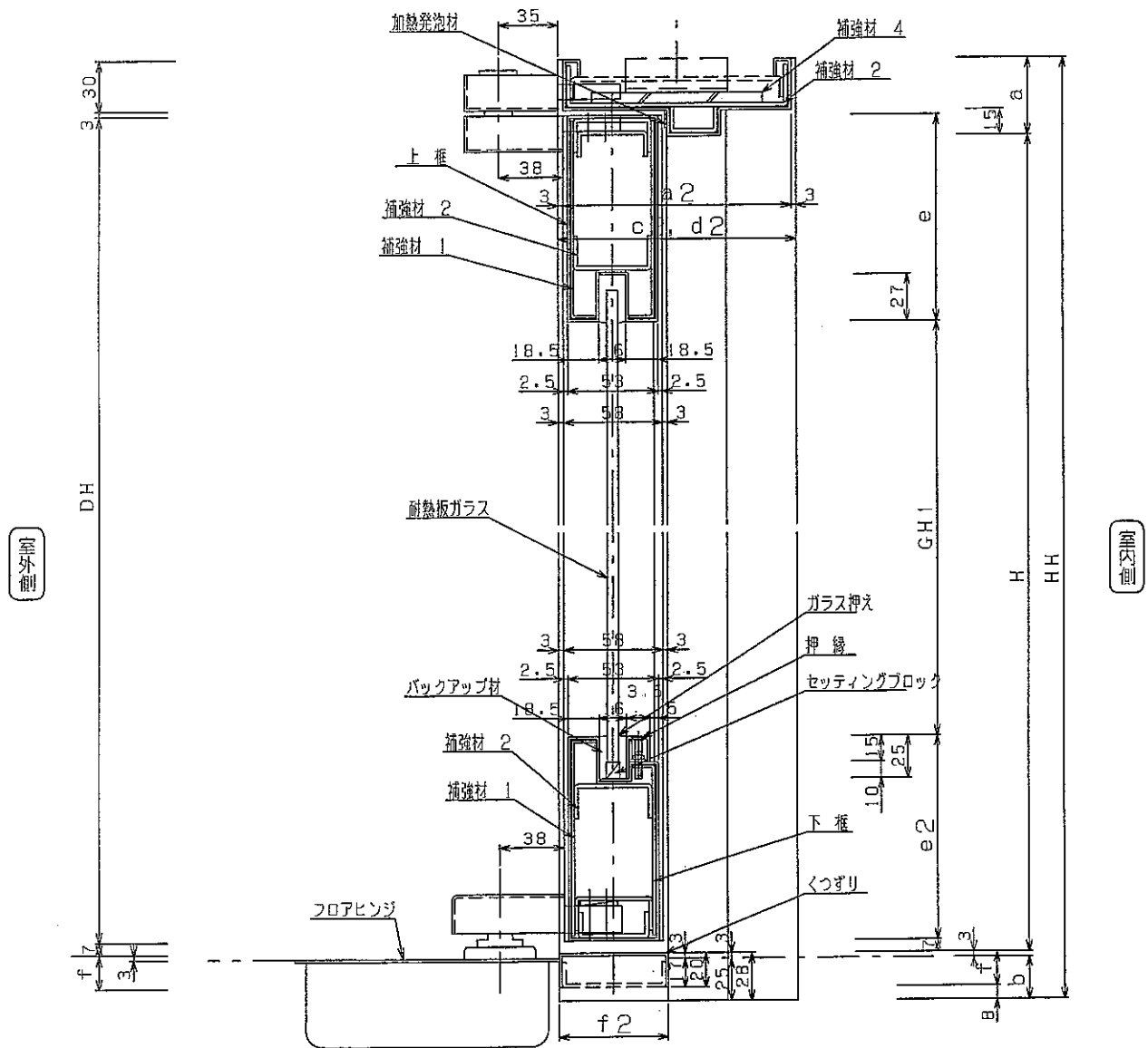


図8 構造説明図

室内側 水平断面図 (片開き戸面袖F i x 付)

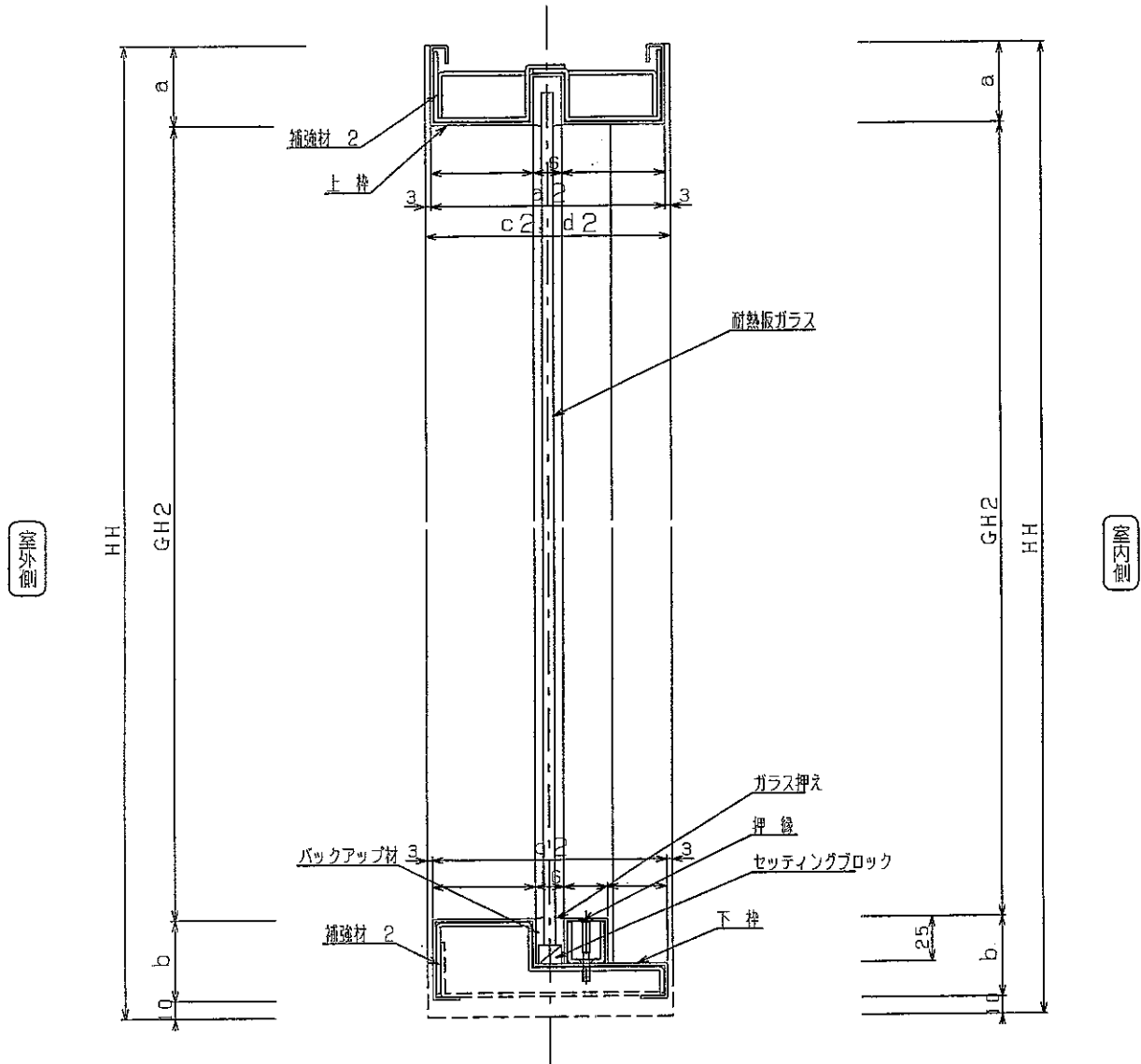
単位 mm



扉側 鉛直断面図(片開き戸片袖2連F i ×付)

図9 構造説明図

単位 mm



F i × 側 鉛直断面図 (片開き戸片袖2連F i × 付)

図 10 構造説明図

6. 施工条件：

施工図を図11～図22に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 組立

建具のうち、上框、たて框及び下框を工場で加工し、組み立てたものを現場に搬入する。

(2) 枠組取付け

1) 取付準備

取付場所を清掃し、建具を配置するスペースを確保し、各階基準墨、取付開口部の大きさ等の確認を行う。

2) 取付け

①建具の配置

サッシ芯墨、返り芯墨及び陸墨等の基本墨に基づき、所定の位置に建具を配し、枠の水平、倒れ、対角線寸法をチェックする。

②建具の組立

上枠、左右のたて枠、下枠及び方立を組立てる。

③建具の固定

建具のアンカーを差筋又は取付用アンカーに溶接する。

3) 周壁部の処理

①湿式工法の場合、枠と周辺構造材との間にセメントモルタルを隙間なく充てんする。

②乾式工法の場合、せっこうボード等で被覆する。

4) 仕上げ塗装

ガラス施工前に仕上げ塗装を行う。

(3) ガラスの取付け

1) 取付準備

イ) ガラス開口部及びガラス溝の寸法を確認後、建具の押縁を外した後、ガラス溝を清掃する。

ロ) 周辺部にガラスを破損するおそれのあるねじ及び突起物を除去する。

2) ガラスの取付け

所定の位置にセッティングブロックを据え付け、ガラスに反り、ねじれを生じさせないようににはめ込む。なお、取付けの際、ガラスエッジ及び面には傷を付けないように注意する。

3) ガラスの調整

所定のクリアランス及びかかり代となるよう、ガラスを微動させて調整し、その後、押縁を取付ける。

4) シーリング材の施工

ガラスの取合い部分にバックアップ材を入れてシーリング材で仕上げる。

5) 養生

ガラスを施工後、工事が完了するまで、注意喚起の貼紙をし、必要に応じて防護材でガラス面を養生する。

(4) 扉の取付け

1) 取付準備

イ) ドア種類、寸法及び仕様を確認する。

ロ) 建具寸法及び精度を確認する。

2) 扉の取付け

①左・右勝手の仕様と建具開口寸法を確認する。

②ドアをフロアヒンジ又はピボットヒンジの軸に差し込み、トップ軸にはめ込みし、ねじで適正に締付ける。

③ドアを指定の位置に合わせ、ドアの建付けを調整し、適正に建付ける。

④ドア軸心及びドアと枠の直角度について十分に注意する。

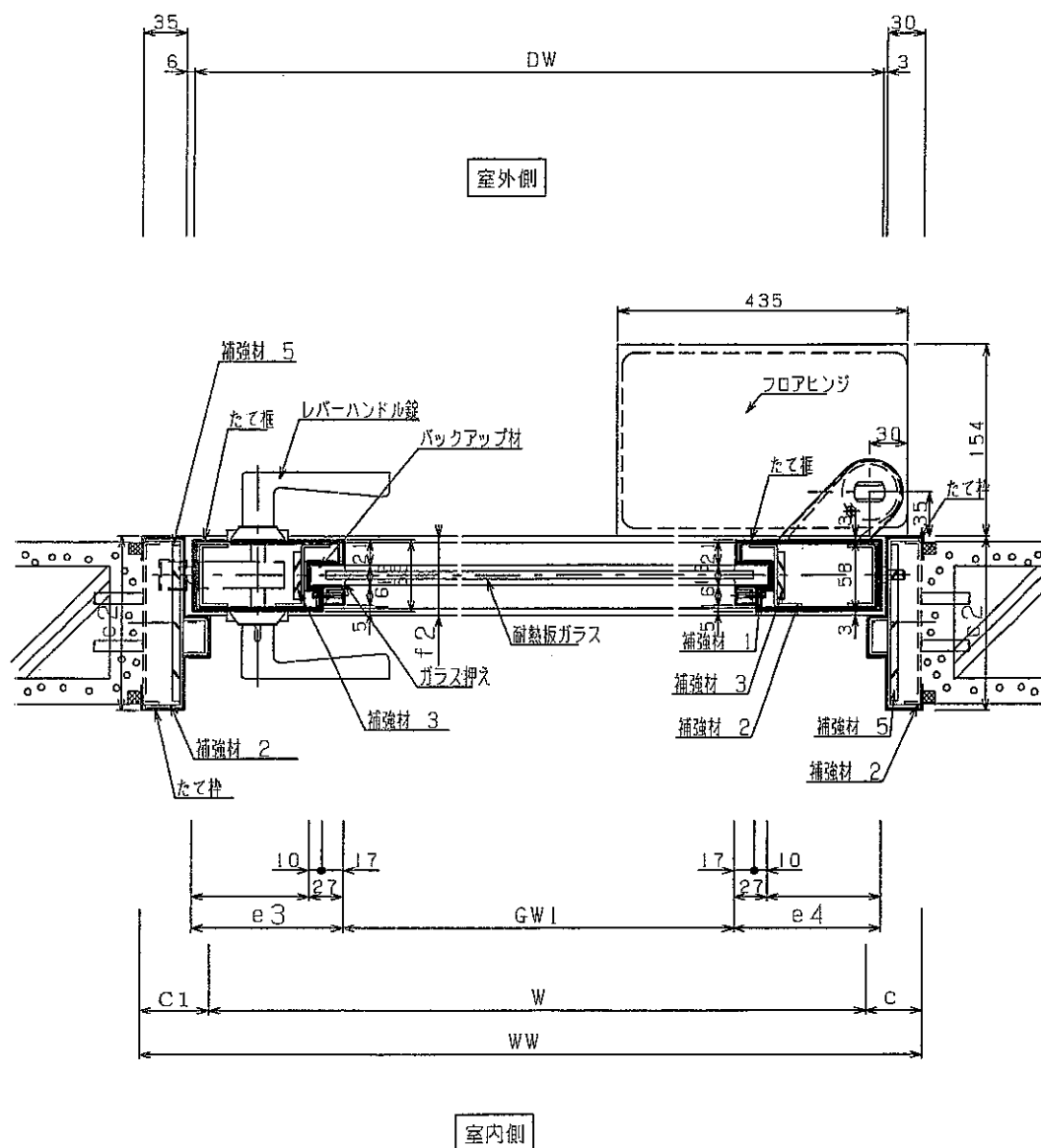
⑤ドアの手動開閉力は、可能な範囲で調整を行う。(自閉装置が作動した場合はこの限りでない。)

⑥全閉時のドアとたて枠の上下隙間差は1mm以下となるよう調整する。

⑦ドアの下端とくつずりの隙間は7mmとなるよう調整する。

⑧開き戸が確実に閉鎖し、ラッチが確実にかかることを確認する。

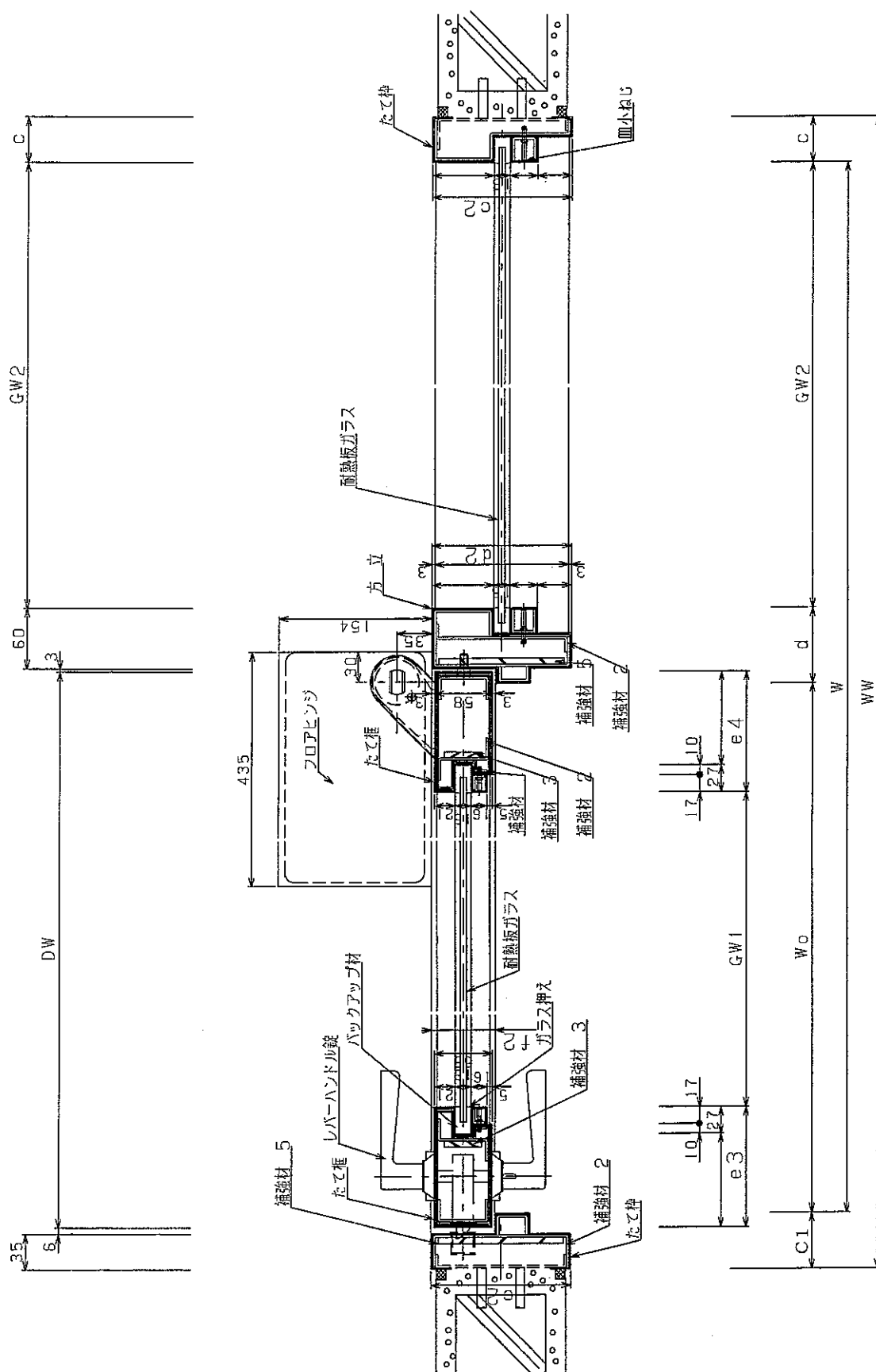
単位 mm



水平断面図（湿式工法、片開き戸 施工仕様）

図 1 1 施工図

室外側

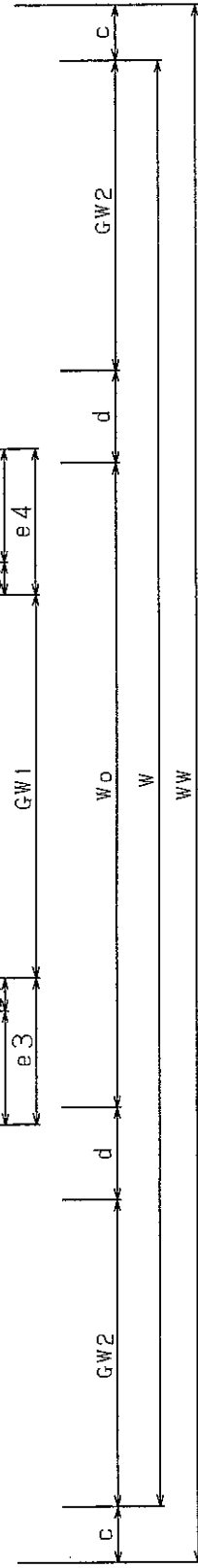
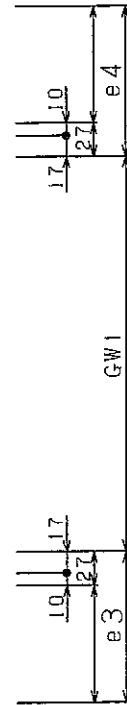
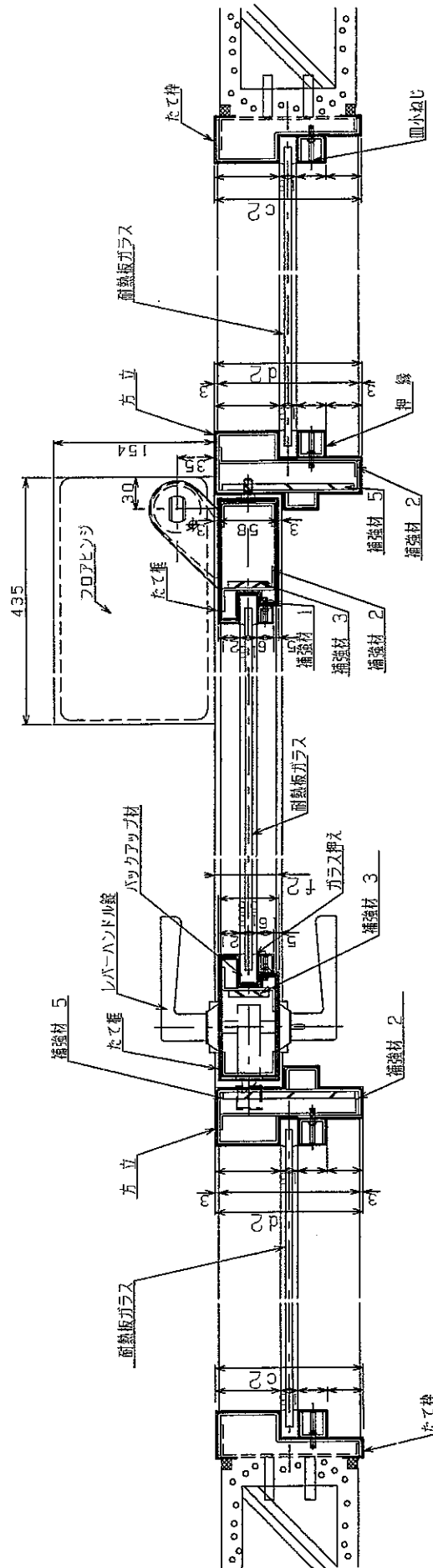
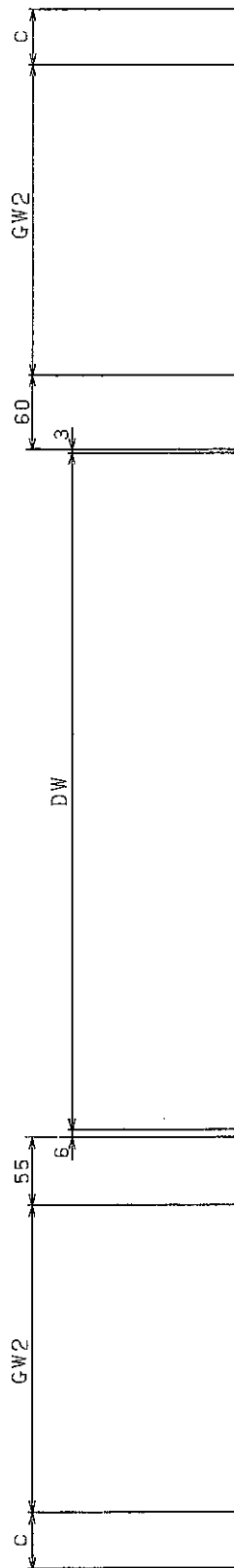


水面断面図(堤工式、堤上、堤下、工事仕様)

室内側

图 12 施工图

室外側



単位 mm

室内側 水平断面図 (湿式工法、片開き戸面袖F・X付 施工仕様)

室内側

図14 施工図

Technical drawing of a window frame cross-section, showing internal and external views with dimensions and labels.

Labels:

- 加熱発泡材 (Heating foam material)
- 補強材 4 (Reinforcement material 4)
- 補強材 2 (Reinforcement material 2)
- 上 框 (Upper frame)
- 補強材 2 (Reinforcement material 2)
- 補強材 1 (Reinforcement material 1)
- 耐熱板ガラス (Heat-resistant plate glass)
- バックアップ材 (Backup material)
- 補強材 2 (Reinforcement material 2)
- 補強材 1 (Reinforcement material 1)
- フロアヒンジ (Floor hinge)
- モルタル (Mortar)
- アンカー $\phi 9$ (Anchor $\phi 9$)
- ガラス押え (Glass support)
- 押 縁 (Push edge)
- セッティングブロック (Setting block)
- 下 框 (Lower frame)
- くつぎり (Cutting)
- モルタル (Mortar)

Dimensions:

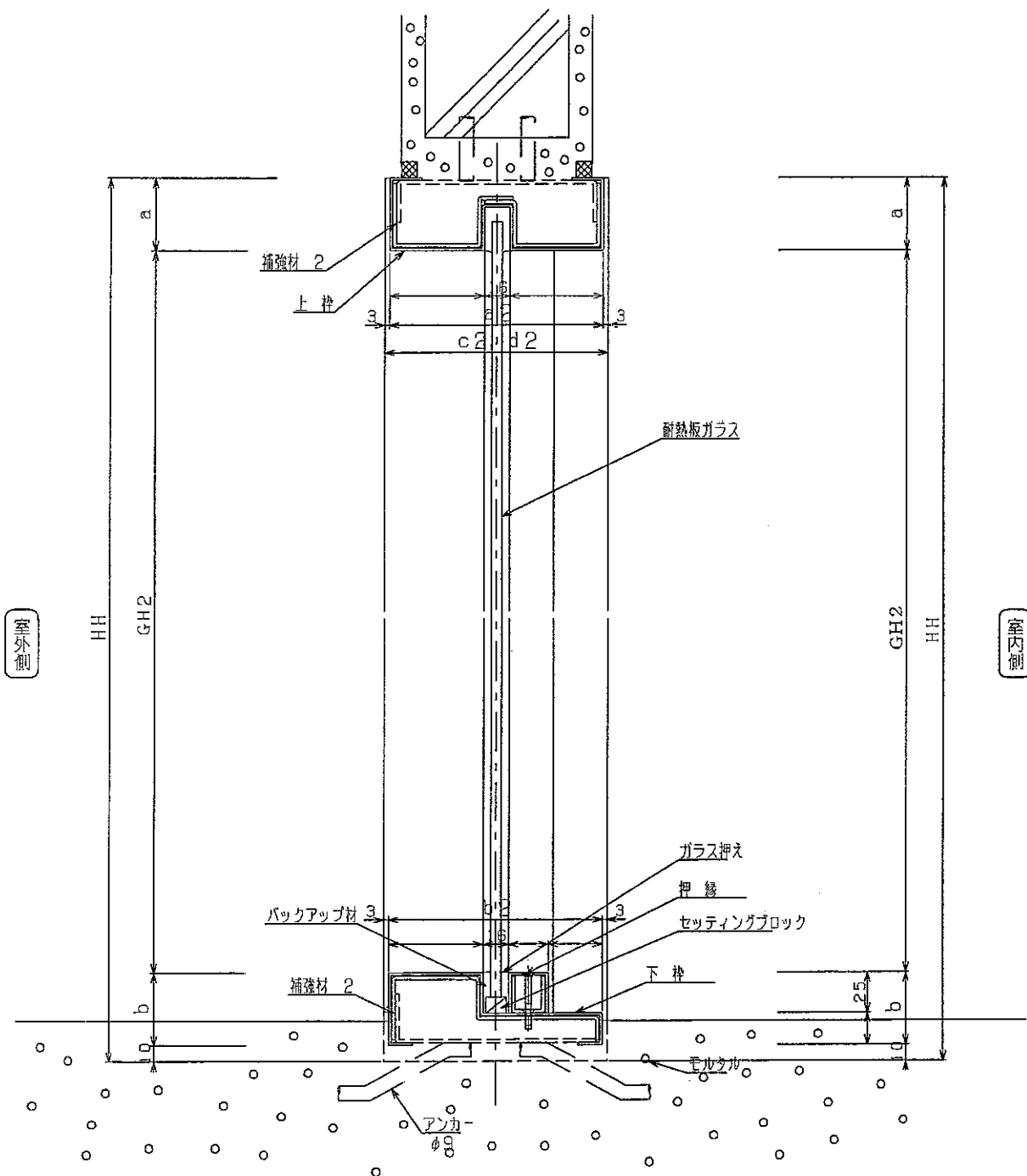
- 3, 30
- 38
- 3
- a 2
- c 2, d 2
- 27
- 18.5
- 2.5
- 3
- 5.8
- 3
- 3
- 5.8
- 2.5
- 3.5
- 18.5
- 38
- 7
- 4
- 3
- 10
- 15
- 25
- 10
- e 2
- 3
- 4
- B
- f a
- H
- H H
- GH 1
- a
- e

Orientation:

- 室内側 (Indoor side)
- 室外側 (Outdoor side)

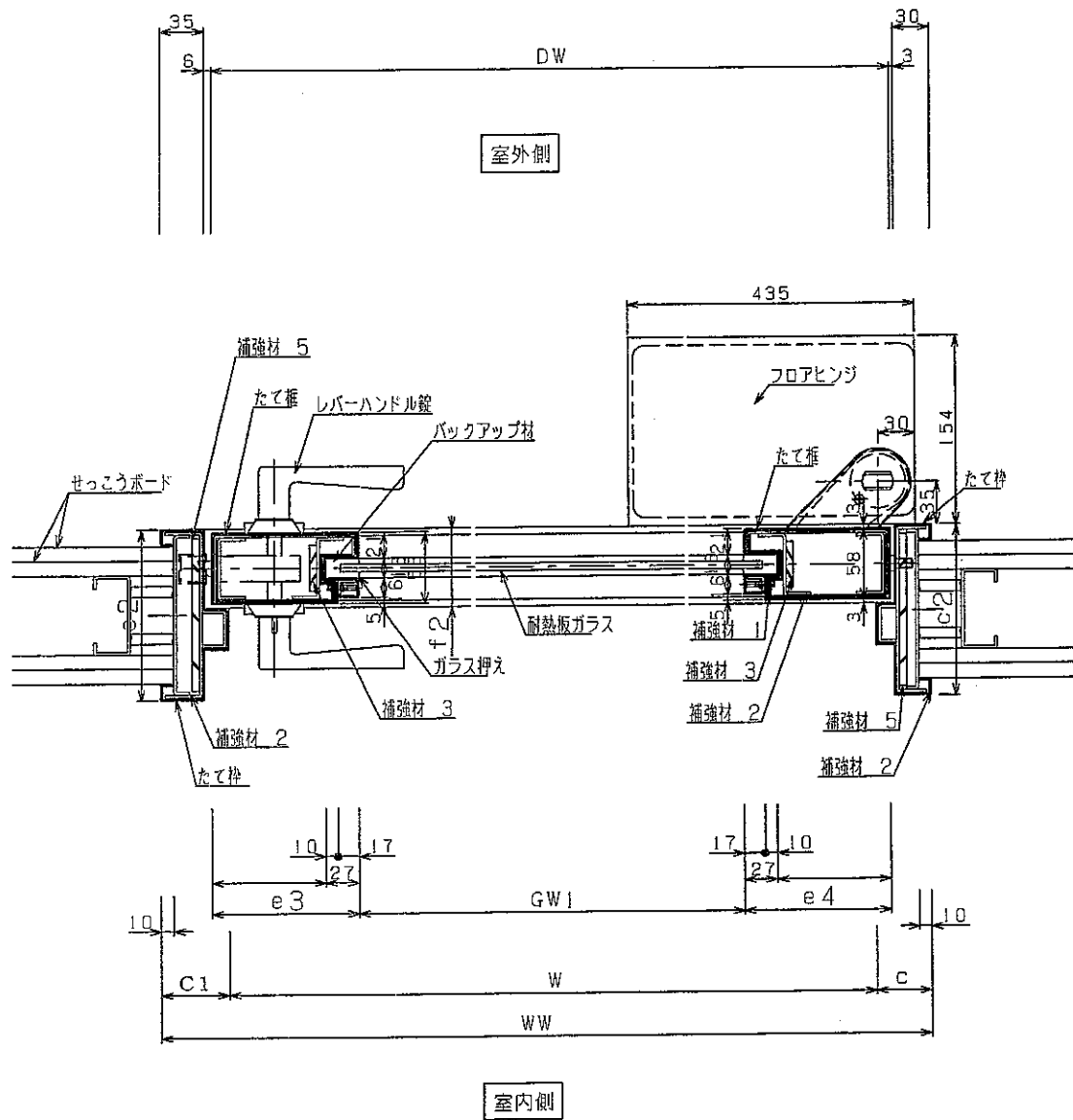
图 15 施工图

単位 mm



F i x 側側 鉛直断面図（湿式工法、片開き戸片袖F i x 付 施工仕様）

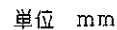
单位 mm



水平断面図（乾式工法、片開き戸 施工仕様）

图 17 施工图

室外側



室内側

图 18 施工图

Technical drawing of a rectangular structure, likely a cross-section of a wall or foundation. The drawing shows a vertical section with the following dimensions and labels:

- Top Section:** A small rectangular section at the top with a width of C and a height of $GW3$.
- Middle Section:** A larger rectangular section below the top one, with a width of d and a height of $GW2$.
- Bottom Section:** A rectangular section at the bottom, with a width of 60 and a height of 3 .
- Overall Dimensions:** The total width of the structure is 35 , and the total height is DW .
- Other Labels:** The label 6 is located at the bottom left corner, and 60 is located at the bottom right corner.

[illegible]

室内侧

图 19 施工图

單位 mm

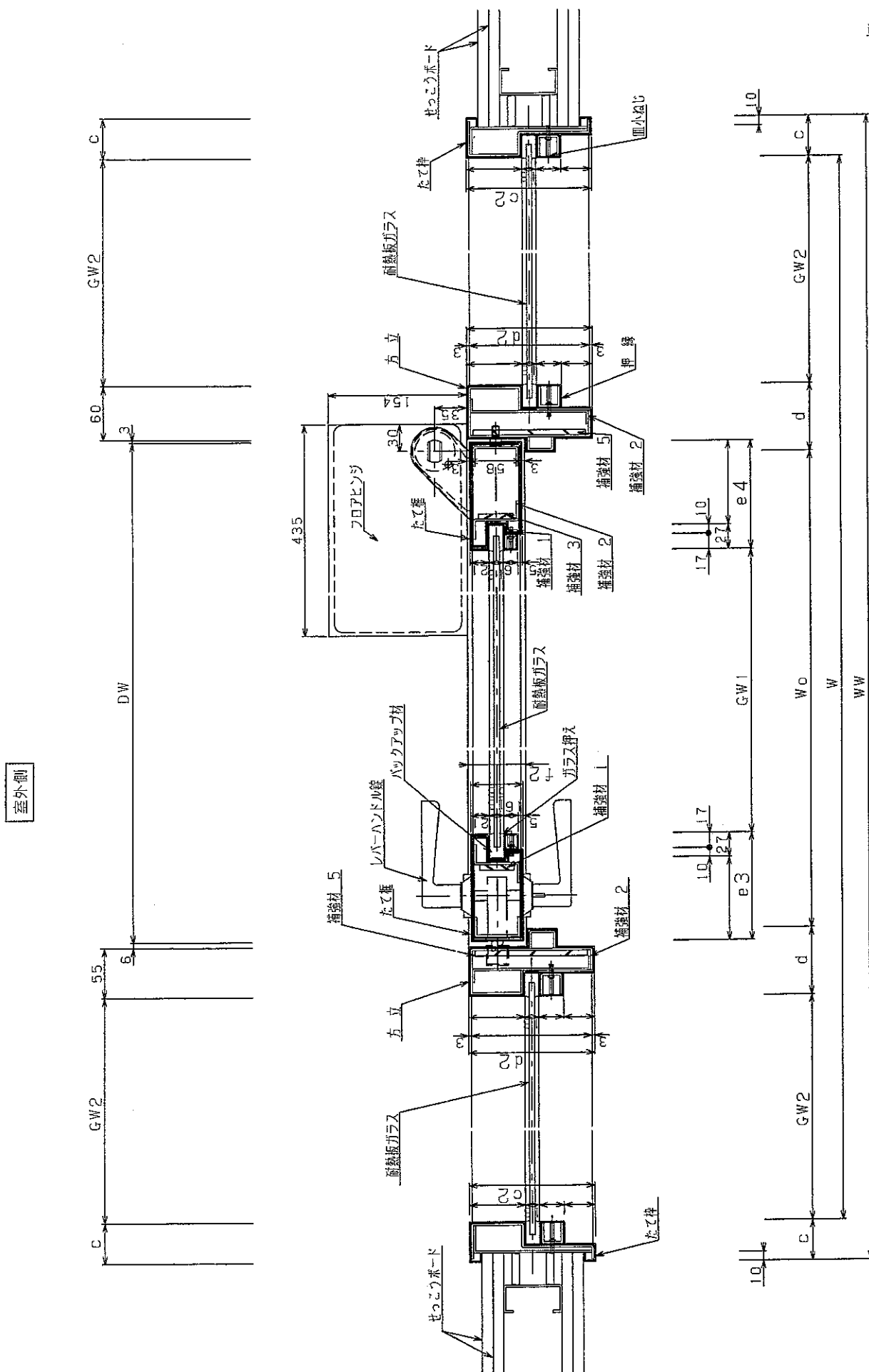


图20 施工图

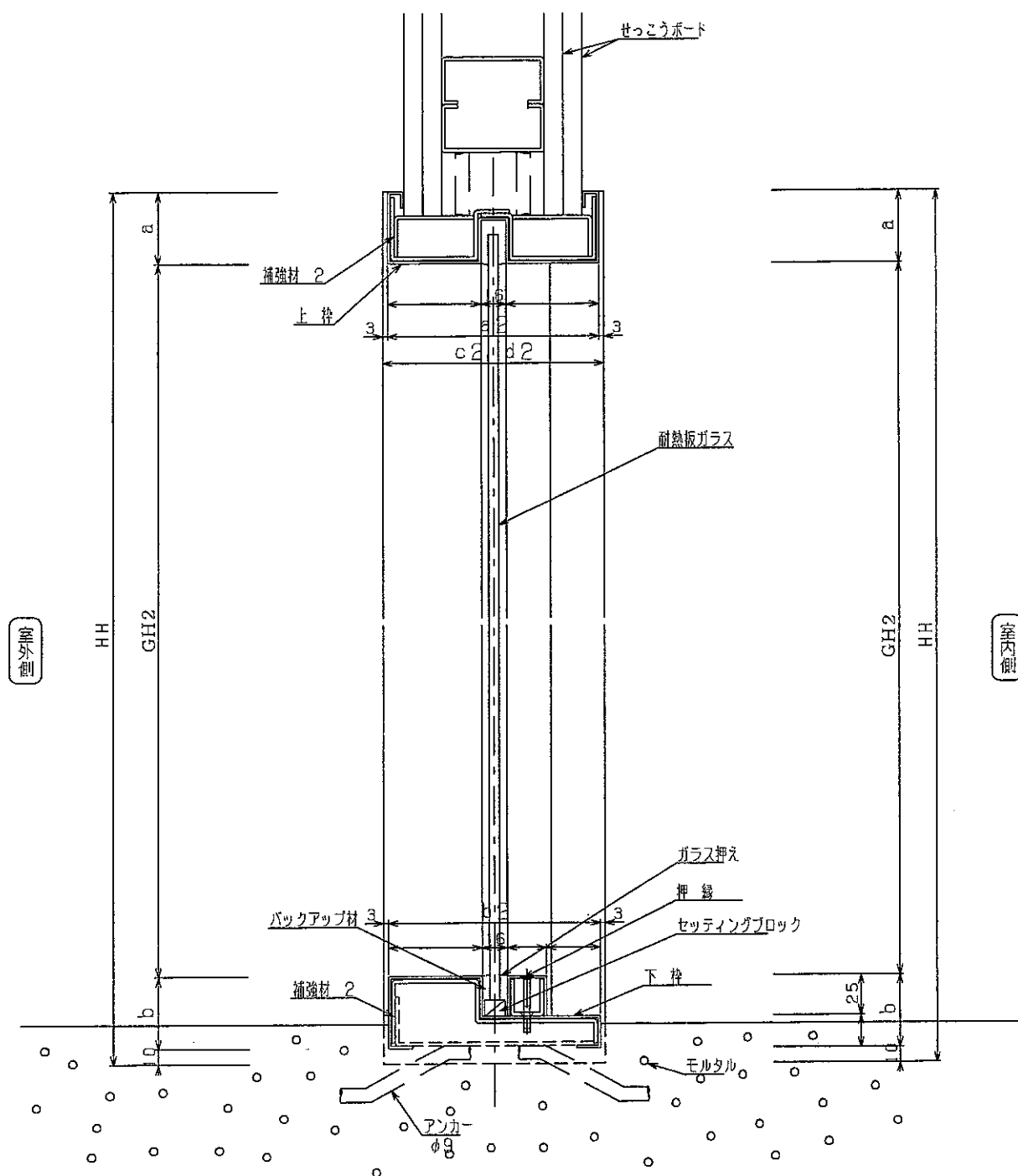
水平断面図 (乾式工法、片開戸面袖付工仕様)

室内側

[illegible]

图21 施工图

単位 mm



F i x 側側 鉛直断面図（乾式工法、片開き戸片袖F i x付 施工仕様）

図22 施工図